

議会だより そとがはま

第54号

平成30年11月

議会を傍聴しませんか

◆次の定例会予定
12月5日(水)～7日(金)

外ヶ浜町公式ホームページ ● <http://www.town.sotogahama.lg.jp>



10/15 おぐにふるさと体験館でのサツマイモ掘り（風のまちこども園）

目次

○第107回9月定例会／2～7

○一般質問：4議員が登壇／8～11

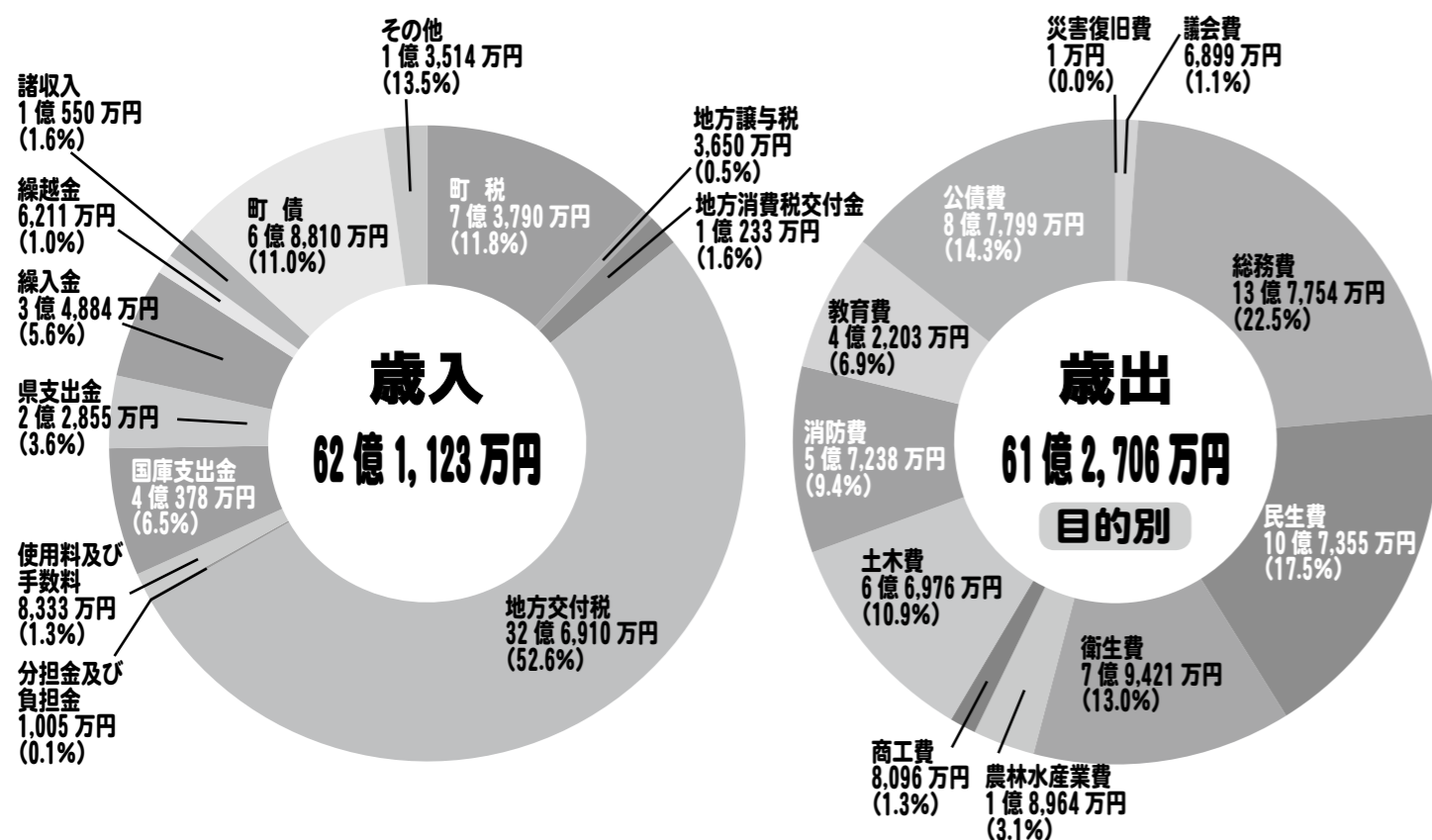
○第108、109回臨時会／12～13

○議会行政視察研修／14～15

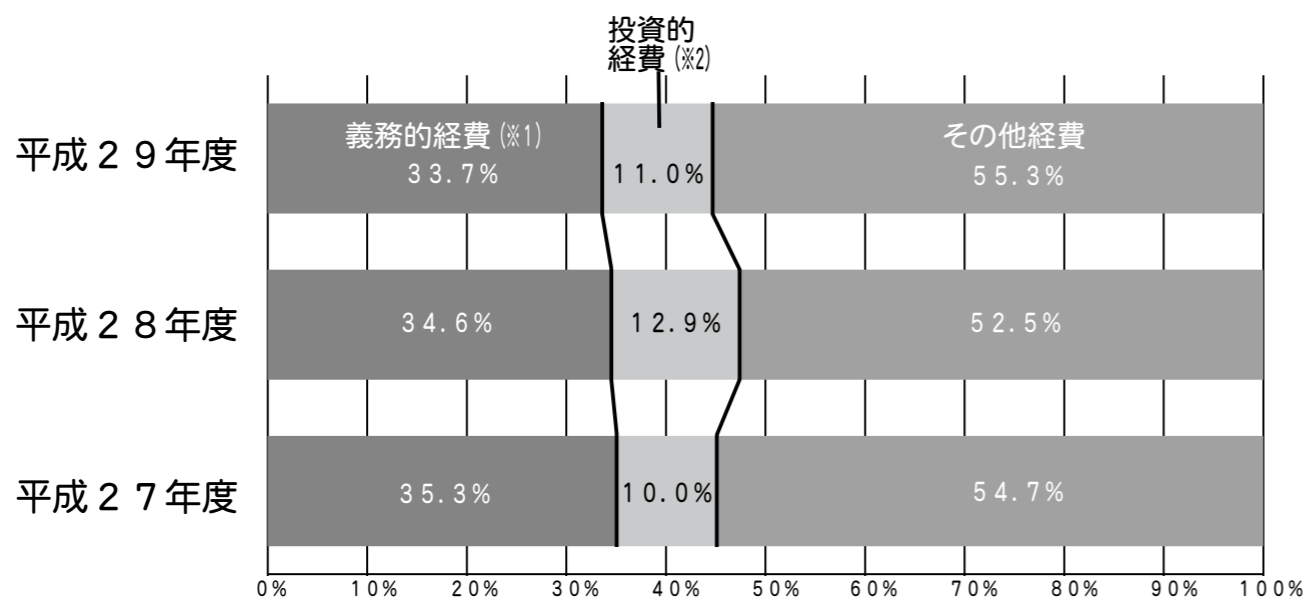
○議会活動報告／16

平成 29 年度 一般会計・特別会計など 11 会計の決算を認定

一般会計決算額の内訳



歳出の性質別構成比と推移



(※1) 義務的経費とは、支出が法令で義務付けられた任意に削減出来ない経費で人件費、公債費、扶助費の合計額

(※2) 投資的経費とは、支出が資本の形成に向けられる経費で普通建設事業費、災害復旧事業費の合計額

第107回定例会は、8月31日から9月6日までの7日間の日程で開催されました。

補正予算案、町条例の制定案、町条例の一部改正案、過疎地域自立促進計画の変更案、財産取得の件など合わせて11件を審議し、原案のとおり可決しました。

平成29年度の一般会計、特別会計などの歳入歳出決算認定については、決算特別委員会を設置し、集中審査の結果、全て原案のとおり認定しました。

また、議員発議としてライッセインター建設を求めめる意見書案を提出し賛成多数で可決しました。

一般質問は、4人の議員が登壇し、通告順に8511ページに掲載しました。

●平成 29 年度一般・特別会計の決算額

区分	歳入	歳出	差引残額	歳出前年度比
一般会計	62億 1,123万円	61億 2,706万円	8,417万円	99.9%
国民健康保険	12億 6,180万円	11億 6,602万円	9,578万円	93.9%
介護保険	12億 3,337万円	12億 35万円	3,302万円	100.2%
大字費	272万円	188万円	84万円	186.1%
平館財産区	2千円	2千円	0円	100.0%
根岸財産区	2千円	2千円	0円	100.0%
野田財産区	2千円	2千円	0円	100.0%
下水道	2億 7,765万円	2億 7,725万円	40万円	100.4%
後期高齢者医療	9,501万円	9,466万円	35万円	108.2%
合計	90億 8,178万円	88億 6,722万円	2億 1,456万円	99.2%

●平成 29 年度病院事業会計の決算額

区分	収入	支出	差引残額	支出前年度比
収益的収支	11億 1,329万円	11億 377万円	952万円	97.9%
資本的収支	4,984万円	9,329万円	▲ 4,345万円	121.1%
合計	11億 6,313万円	11億 9,706万円	▲ 3,393万円	99.4%

●平成 29 年度簡易水道事業会計の決算額

区分	収入	支出	差引残額	支出前年度比
収益的収支	2億 6,219万円	2億 5,200万円	1,019万円	95.5%
資本的収支	3,051万円	1億 2,120万円	▲ 9,069万円	29.6%
合計	2億 9,270万円	3億 7,320万円	▲ 8,050万円	55.5%

※病院事業会計、簡易水道事業会計の決算額には仮受、仮払消費税が含まれた金額で掲載しています。

まちの家計簿
決算特別委員会で慎重に審査

決算特別委員会（福井賢一郎委員長）は9月3日から5日までの3日間にわたって開かれ、慎重に審査しました。ここでは審査の中から主な質疑について、内容を要約して掲載しました。

一般会計

【全会一致で認定】

移住者はいたのか

移住・定住・交流促進事業で、平成29年度は何人の方が我が町に移住・定住したか。

移住・定住に及ぶ方はいなかった。

Wi-Fi整備は

Wi-Fi整備委託料により、Wi-Fiが整備された箇所は。

トップマスト、龍飛岬観光案内所、おだいはオートビレッジセンターハウスの3カ所である。



センター設置は

平内町では、70代前半、60代後半で年金をもら

いながら少しでも体を動かして収入を得たいという

方々のためにシルバー人材センターを設置している。

我が町でも検討してはどうか。

県内では、平内町を含む22市町村にセンターがあり、我が町でも今後検討していきたい。

ホタテ残渣施設

ホタテ養殖残渣前処理施設対策事業費で平成29年度も416万円の予算を計上していた。今後は新しい方法で実施していく

のだが、町長の公約である施設を実現したいということには変わりないか。

全く変わっていない。この問題を解決することが地域をよくすることに

直結しているというふうに思っている。一日も早くというところは変えずに進めていきたい。

展示の活用は

当時の館長と話をした際、移動図書館や写真展を開いたらどうかということを進めていたが、途中で館長が体調不良で退社をした。現在は、写真を展示したいという声も上がっている。今後協議をし、進めていきたい。

ポンプ修理は

野田地区の火災で使えなくなった流雪溝のポンプの対応は、その後どうなっているか。

9月の議会でも承認されれば10月に発注し、シーズンに入ってから完成になる。なるべく早い完成を目指したい。



階段国道の計画

階段国道取付道路計画策定委託料の内容は。

龍浜地区の1回目の火災の状況を踏まえ、階段国道と火災の跡地を含めた計画を業者に委託し、それが完成したのが、2回目の火災の直前であった。今後は2回目の火災も含めた計画をつくり直さなければならぬと考えている。

国民健康保険

特別会計

【賛成8・反対2で認定】

国保加入人員は

決算時点における一般被保険者と、退職被保険者、それぞれの加入者数と、前年度との比較で、加入人員はどうか。

国民健康保険の加入世帯数が、1190世帯、加入人員が、2001人、うち前期高齢者が867人、70歳以上が372人である。比較として、昨年の一般被保険加入者が2070人で、マイナス69人、世帯数で、昨年が1217世帯で、マイナス27世帯、退職被保険者の人数は、昨年が8人で、今年度が6人でマイナス2人である。退職被保険者については平成30年度で終了である。

介護保険特別会計

【賛成8・反対2で認定】

サービス向上は

介護保険制度が改悪され、要介護が3以上でなければ特別養護老人ホームに入所できない状況になった。また、要支援は介護保険の対象から除く形になっている。したがって、きめ細かに介護保険を利用できるように対処してはどうか。

日常生活支援総合事業として町ではその外れた部分について、通所サービスや配食サービスなど、町独自の事業として要支援者を支援し、さらには非該当になった方でも判断基準に見合えばサービスを受けられる体制をとっている。今後もしも細やかなサービスへ向け検討しながら進めていきたい。

国民健康保険特別会計決算に対する反対討論

原 芳雄議員

国民健康保険税が高くて払い切れないという悲鳴が上がっている。医療も福祉も改悪の連続である。国民健康保険の加入者には、高齢者や年金生活者、低所得者、自営業者などの加入者が多く、事業主負担もないのが、国民健康保険の制度である。国や県の適切な財政支援があつて初めて成り立つ医療保険である。決算では、依然として収入未済額が多く、そうした中で実施収支額が9578万円を生じている。国民の、町民の切実な願いである国民健康保険の引き下げが容易に可能になる金額である。国民健康保険の引き下げと申請減免の確立、子どもの均等割の軽減などを求めて反対とする。

介護保険特別会計決算に対する反対討論

安藤 英博議員

介護保険料は、国民健康保険税の他に40歳以上全ての方々が納めなければならない。3年ごとの見直しにより、3年前と、2年前にも約1割近い保険料が引き上げされている。年金から天引きされて負担も多くなり、暮らが大変になったという声が高齢者から聞かえている。平成29年度決算では滞納額も増えている。町は、社会保障に対する深い認識と決意を持って、基金の活用などにより、高齢者の負担軽減などを行うとともに、制度の改善を国に強く求めるよう訴えて反対とする。



三原龍浜地区の火災跡地

三原龍浜地区の火災跡地

ここでは補正予算案、町条例の制定案、町条例の一部改正案、過疎地域自立促進計画の変更案、財産取得の件、請願などの審査の中から主な質疑をとりあげ、内容を要約しました。

管理費の内容は

三厩健康増進センター
管理費の補償金16万1000円の内容は。

平成28年にみんまやよしつねの湯が開業してから平成29年度まで観光協会が販売した回数券について、平成30年4月以降、指



みんなやよしつねの湯

収集運搬の増額は

ごみ収集運搬費、ごみ収集委託料47万1000円の増額について。

町は乾電池の日として乾電池を回収して北海道のイトムカ鉱業所を持っていくわけだが、今年度の回収が多かった

め、乾電池を処分しなければいけない。それと併せて、町では水銀の入っている蛍光灯も割れているが、その分のドラム缶の運搬費と処分費の経費である。

防災計画は

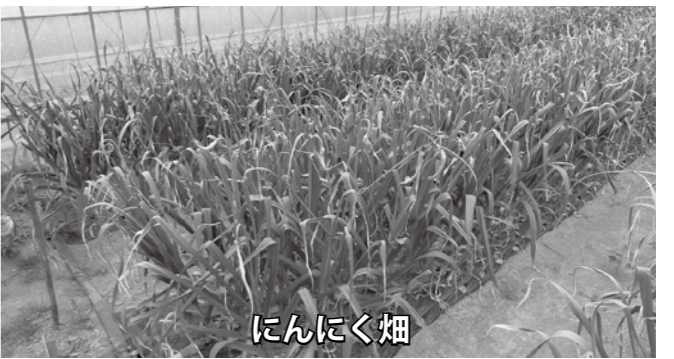
防災対策費、地域防災計画修正業務委託料は、どのような内容か。

津波対策や台風対策で昔からの防災計画がそのまま合併当時のものから引き続いており、最近の特殊な気象状況を加味して、

県の防災計画等も示されているので再度新しいものにしたということでの委託料である。

複合経営について

にんにく種子更新事業補助金とあるが、にんにくの他に稲作農業もやりながら複合経営の一貫とし



にんにく畑

去年から3カ年計画で基金を崩してにんにくの種子を購入し、種を町内ににんにく農家に提供できるように計画している。大

平地区ではタマネギを植えており、上小国地区では水稻の育苗ハウスを利用してミニトマト栽培も検討中であり、法人で積極的に高収入作物をテストしているところである。

答

去年から3カ年計画で基金を崩してにんにくの種子を購入し、種を町内ににんにく農家に提供できるように計画している。大平地区ではタマネギを植えており、上小国地区では水稻の育苗ハウスを利用してミニトマト栽培も検討中であり、法人で積極的に高収入作物をテストしているところである。

大会への助成は

教育費について、子どもたちの部活動、また地域のスポーツクラブ、中学校のスポーツの遠征費などの助成はどのようにしているか。

部活動に関しての大会への出場は、町のバスを利用するほか、学校からの補助申請を受けて補助をしている。スポーツクラブに関しては、基本的に各家族の負担であり、今後各関係方面と協議して対処していきたい。



三厩中学校の部活動の様子

ライスセンター建設に伴う請願

提出者	農事組合法人上小国ファーム代表理事 藤田 巧 農事組合法人大平ファーム代表理事 齊藤 博 農事組合法人南青ファーム代表理事 泉 清衛 農事組合法人中小国ファーム代表理事 工藤重次 農事組合法人外黒山ファーム代表理事 沼田次雄 農事組合法人ファクトリー下小国代表理事 鈴木幸康	紹介議員	石岡博英 石岡 勉 記田慶市	賛成者	記田慶市、石岡 勉、 濱谷恭市、福井賢一郎、 杉谷和穂、原 芳雄、 石岡博英、安藤英博
反対者	高坂 茂、三上 満	採択と決定し意見書を外ヶ浜町長へ提出しました。			

ライスセンター建設を求める意見書

日本の農業・農村の急激な人口減少と高齢化そして自給率の維持向上のために政府は大幅な農政改革を打ち出した。従来の小区画の水田を大型機械が入れる基盤整備事業と農村を守る集落営農組織及び低コスト、労働時間の短縮で収益の確保、等々である。20年以上に渡る旧蟹田町の基盤整備事業も最終事業の山本地区が昨年、主工事が完了し、一枚5反歩平均の水田が出来上がった。その結果、当初計画した収穫量を大幅に上回る見通しで平成12年に下小国地区に建設されたカントリーエレベーターの処理では賄い切れないことが判明した。このことから、JA青森米倉庫の隣接地に建設と土地を農事組合法人上小国ファーム名義で取得することを農事組合法人代表者会議で決定したものである。すでに平成30年2月26日に所有権移転も完了し準備が整っている。

ライスセンター運営経費の削減と作業の効率化を図るにはライスセンターと倉庫の出入庫の連携はJA米倉庫の隣接地でなければ低コスト化は望めない。隣接地から離れることで人手や荷の積み下ろしの負担、重機やトラックの二重投資は将来に大きな禍根を残すことになる。

農水省や青森県から指導を受けながら国の目指す農村のモデルとして、集落営農から各農事組合法人としての組織を確立し、最終目標の旧蟹田町の水田の一農場管理は集大成のライスセンターの建設の完成に懸っている。

以上の趣旨からライスセンター建設場所は上小国ファーム所有の外ヶ浜町字蟹田小国岩井291番地1にすること、平成31年秋に稼働できるよう強く求めます。

平成30年9月6日

【提出先】 外ヶ浜町長

外ヶ浜町議会

消防自動車に軽を採用

三厩地域小型動力ポンプ付積載車の老朽化に伴い、地域消防力の安定を図るため提案され可決しました。

軽自動車を配備

小型動力ポンプ付き軽積載車の仕様と、配備される分団はどこか。

4WDのワンボックス軽自動車を改良してポンプを積載し使用する形であり、配備箇所は、三厩地区の榎柳分団と、六條間分団の2分団である。



※イメージ図

9月補正予算の状況

●一般会計・特別会計

区分	補正額	補正後の予算額
一般会計	2億4,060万円	55億3,411万円
国民健康保険	1,965万円	11億5,164万円
介護保険	4,582万円	12億6,449万円
下水道	183万円	3億1,439万円
後期高齢者医療	72万円	9,772万円

●企業会計

区分	補正額	補正後の予算額
病院事業会計 (資本的収入)	108万円	8,792万円
病院事業会計 (資本的支出)	216万円	1億2,935万円



記田慶市議員

ライスセンター建設の

ボーリング調査を3カ所にした目的は

■答弁▼地質調査結果と他を勘案して総合的に判断

◆質問／ライスセンター建設計画は、3月議会に町長自ら提案し議決されたが、今もって方向づけがされていない。生産者の利用に間に合わせるのが行政の仕事でないか。この一年の経過は取り返しがつかない。国、県の指導で進めてきた外ヶ浜町農業の集落営農組織への将来に大きなブレーキをかけた。ボーリング調査を3カ所にした理由を伺う。

た。4月にファーム代表者との協議で他の候補地で進めることにした。しかし5月の全員協議会におぐにふるさと体験館と、南青ファーム格納庫周辺を候補地として提案したが、議員より当初の候補地に建設すべきとの指摘を受け、町としては2カ所の予定を3カ所に再検討することにした。地質調査の結果と他の要件を勘案して総合的に判断する。

で指定された金額から龍浜地区火災現場復興支援補助金四百五十万円を交付した残余金はいくらか。

■町長／企業名と金額は公表しないこととしているので答弁は控える。

◆質問／1回目の大災被災者へのその後の対応状況を伺う。

ら言われたことは、町は常に公平、公正、中立的な立場で進めるべきで、差別があつては地域住民の感情に亀裂が入りかねない。町長も議会で不公平感を減らすことが地域住民に一番役立つと答弁している。先に被災した人と後に被災した人に差があつてはならない。

■町長／不公平感をなくすことと言ったのは現金で支払うこととイコールでない。1回目と2回目で焼けたところを含めた上で使い方を考え、1回目の方にも今回のお金を還元していく。



塩越地区旧水産加工場

◆質問／塩越地区水産加工場の解体見込は。

■町長／大規模施設であることと急斜面上に建設されていることから相当な費用が見込まれる。予算上の面から厳しいのが現状で、収容物の飛散防止と職員の定期巡回で対応していく。

三厩龍浜地区大災について

■町長／建設を妨げるつもりは毛頭ない。当初建設候補地であった蟹田保育所跡地の売買履歴について、不安が残るので公共施設を建設することは難しいと判断している。

◆質問／1月に発生した2回目の龍浜地区大災については、ふるさと納税

◆再質問／5月9日の臨時議会で、多くの議員が

塩越地区旧水産加工場について

塩越地区旧水産加工場について



安藤英博議員

ホタテ残渣処理施設の早期実現を

■答弁▼ゼロからのスタートで慎重に決定したい

◆質問／プロジェクトチームを中心に各関係者が参加して反対賛成の声や、有識者などの意見を聞きながら、町民全体が一つの輪になって一次産業である農業、漁業も町民の全体的ことを考えて町民のために進めていただき

たい。

■町長／残渣の処理方法に対し早期実現に向け民間活力導入可能性調査を実施することで速やかに建設に向け地域住民への丁寧な説明を実施していきたい。

■町長／世界で戦っている物を生み出すことができる可能性があるという意味では、ホタテというのはすごく実効性が高く、しかもすぐに取り組めるものだと思う。今後とも十分に協力を惜しまずに頑張っていく。

冠婚葬祭などの簡素化運動について

山菜加工所に

◆質問／今年青森市に残渣処理のお願いが出来たが一年限りである間について。来年から残渣についてどう対応していくのか。約400名を超えるホタテ養殖業の雇用で、水揚げ高も平成28年度は約25億円になり、町の税金にも大きく役立つ。町長はこの一次産業に対しての全力で頑張っていたため決意を伺う。

◆質問／今年青森市に残渣処理のお願いが出来たが一年限りである間について。来年から残渣についてどう対応していくのか。約400名を超えるホタテ養殖業の雇用で、水揚げ高も平成28年度は約25億円になり、町の税金にも大きく役立つ。町長はこの一次産業に対しての全力で頑張っていたため決意を伺う。

◆質問／漁業者の後継者問題が深刻である。廃業者も年々増えており、後継者対策を町としても考えていく必要があると思うが、考えは。

■町長／あおもり漁業体験教室と漁業インターンシップの2つの柱で行われているが町独自の後継者対策についても進めていきたい。

◆質問／冠婚葬祭の簡素化運動の推進を。

■答弁／住民の生活改善推進が重要な役割であると認識している。

◆質問／高齢化社会になり少ない年金で暮らしている方が多くなっている中で、付き合いも多いことから、やりくりも大変だという声が上がっている。見栄、無駄を無くしていくために新生活改善運動推進に町をあげて取り組んでいく必要があるが、考えは。

◆質問／山菜加工所の復活を望む声に支援対策を。

■町長／今後、加工所を運営したい方に、前向きに進めることができるものと考えている。

◆再質問／外ヶ浜町では春から秋にかけて山菜がたくさん採れる。付加価値をつけるためにも加工所が地元をほしいという町民の声に伝えてほしい。

■町長／町内の中からやってみたいという方がいれば一緒に知恵を出し合って検討していく。



プロジェクトチームでの会議

◆質問／プロジェクトチームを中心に各関係者が参加して反対賛成の声や、有識者などの意見を聞きながら、町民全体が一つの輪になって一次産業である農業、漁業も町民の全体的ことを考えて町民のために進めていただき

たい。

■町長／世界で戦っている物を生み出すことができる可能性があるという意味では、ホタテというのはすごく実効性が高く、しかもすぐに取り組めるものだと思う。今後とも十分に協力を惜しまずに頑張っていく。

冠婚葬祭などの簡素化運動について

山菜加工所に



原 芳雄議員

給食費無料化・前向きに検討は怎么样了か

■答弁▼高校生通学定期券購入に助成、給食費は今まで通り半額補助で

◆質問／昨年の12月議会
で安藤議員が給食費の無
料化を求めたが、町長と
教育長はともども「半額
補助を実施してまだ8ヶ
月であり、町の財政状況
や他の施策を見据えなが
ら出来るだけ前向きに検
討したい」と答えていた



蟹田小学校給食時の様子

がその後の検討結果をお
聞きしたい。
■町長／今年度から新た
に高校生通学定期券購入
費助成などを始めた。ま
た給食センターの施設、
設備、運搬車等の維持管
理や資材の高騰による経
費など増えていくと予想
されるので、今まで通り
の半額補助で理解してい
ただきたい。

◆質問／前向きに検討と
いう事で、一歩でも半歩
でも前進すると期待して
いたが残念である。今後
さらに無料化を求めてい
きたい。群馬県嫺恋村
の村長はホームページ
で「平成28年度より学校
や幼稚園の給食費を無料
にした。保育料も無料に

した。憲法26条第2項に、
義務教育はこれを無償と
すると規定している。こ
れに一歩でも理想に近づ
けるのが行政である。子
育てするなら嫺恋村を目
標に、一歩でも前に進む
政策を実現する」と発信
している。教育の無償化
を憲法で明記しながら実
際無償化しているのは授
業料と教科書だけである。
しっかりと子育て家族に
寄り添いながら、保護者
の経済的な負担軽減、教
育の充実に向け4月から
の給食費の無料化を進め
ていただくよう強く訴え
たい。

下水道経費莫
大・見直しを

◆質問／下水道事業は莫
大な事業費がかかっている
が、加入者は極めて少
ない。3地区の加入率は
いくらか。これまでの計
画に対する施工費はいく
らとなっているか。
■町長／加入率は計画
世帯に対して蟹田地
区は42%、平館地区は
47%、三厩地区は45%で
ある。これまでの施工費
の事業費は蟹田処理区
27億9100万円、平館
処理区34億5400万円、
三厩処理区24億1300
万円である。

地区を削除し、さらに増
川地区は真ん中あたりを
削除し28・4ヘクタール
になっている。地域の現
状を見れば妥当と思うが、
マップを見ても自分の所
が計画外なのか計画内な
のか判然としない。計画
外だとすれば合併浄化槽
を設置するという人もい
るかも知れない。その場
合、浄化槽設置は補助金
の対象になるので計画区
域がはつきりわかるマッ
プを配布すべきでないか。
■建設課長／何回か事業
計画を変更しているが、
詳細な区域の図面を配布
していないと思っ
改めて対象となる範囲、
ならない範囲を住民に周
知するようにしたい。



石岡 勉議員

町民税の税收について

■答弁▼ホタテの高値で前年比4300万円増の
2億2200万円の税收となった

◆質問／平成29年度決算
では、税收は増加してい
るが、この状況をどう見
ているか。

■町長／この3年ぐら
いホタテの高値で平成29
年度の町民税は前年比43
00万円増の2億220
0万円の税收となった。
又、農業所得は蟹田地区
の農事組合法人設立後は
増加の傾向である。
◆再質問／ホタテにだけ
過大な期待をするのでは
なく、農業や給与所得で
も一定のラインを維持で
きる施策はどう考えてい
るか。

■町長／漁業では試験的
だがマツカワガレイ、龍
飛岬金メバル、平館での
ナマコ等の養殖、また、

農業ではライスセンター
の建設など町としてお手
伝いしていきたい。

◆質問／町民税以外の状
況はどうなっているか。

■税務課長／法人町民税
が3200万円、固定資
産税が4億1300万
円、国民健康保険税が
3億2500万円である。

◆質問／法人町民税は28
年度に比べ約600万円
のマイナスとなったがそ
の要因は何か。

■町長／法人町民税減少
は、主に建設関係の減少
だが、他に卸売業で78・
1%減、運輸通信業で
48・1%減である。

国道280号
バイパス
中師地区
について

◆質問／国道280号バ
イパス中師工区の今年度
の進捗状況を伺う。

■町長／県が用地買収
の交渉に入っており
9000万円の事業予算
が計上されている。

■建設課長／4月半ばに
地権者との交渉に入ると
連絡があり、その時点で
は2件の方が交渉に難を
示しているとの事である。
又、地権者から役場に数
件の問い合わせがあった。

◆再質問／山崎町長に
なつてから町当局の県に
対する要望活動が見えな
い。以前は町長を先頭に

我々議員も県知事、県部
局に幾度も行ったが、町
長に考えはあるか。

■町長／私は既に予算が
ついたものにダメ押しで
行く重要性は考えていな
いが、議員の皆
さんが県への要
望が大事だと言
うのであれば検
討したい。

◆再々質問／予
算がついても使
わないと意味が
無い。4、5年
の工期が10年
もなつたら大変
だ。我々議会と
町当局も一緒に
動くべきと思
うが。



中師地区の国道280号バイパス

総合福祉センター 屋根防水修繕工事費



防水シートが剥がれている様子

5378万円を可決

10月11日、第109回臨時会が開催され、
工事の請負契約の件、1件を審議し、原案
のとおり可決されました。

・ 請負金額 53,784,000円
・ 契約業者 藤川建築

問 工事の内容的なものについて伺う。防水加工というのは、トタンなのか、また別なものなのか。

答 防水加工は、超速硬化ウレタン防水工法で、

ウレタンを現在既存のゴムシートの上に防水シートを一旦敷いて、その上からまた防水ウレタンを塗り、その上にスプレー工法で、遮熱性の高い透明のシートを吹きつけて行う。一部、大きく剥がれている所が3カ所あり、シートを一旦剥いだ上で施工する。

問 全体の施工面積と、一坪当たり単価は。

答 工事平米数は、2618平米となり、平米当たり単価は、1万9099円である。

問 この防水施工に関する保証期間は何年か。

答 保証期間は、10年である。

16号棟 公営住宅建設工事費

5,475万円を可決

・ 請負金額 54,756,000円
・ 契約業者 株式会社 黒田建設



基礎工事の様子

9月13日、第108回臨時会が開催され、
工事の請負契約の件、財産の取得の件併せて2件を審議し、原案のとおり可決されました。

した場合は請負金額の差はあるか。

答 今回の新上蟹田団地16号棟が完成することにより、新上蟹田団地は全部で19棟で、計画は一段落である。

古いほうの上蟹田団地は解体に向けた計画を立てていくことになっている。

これまで建設してきた住宅そのものが、かなり年数も経ってきており、今後はその設備の更新等の計画を立てていく予定である。

一括発注をした場合は、諸経費的なもので金額は低くなることは確実であるが、地元業者に発注することに より、細かな対応、円滑で効率的な施工が期待できるものとして、今回は分離発注に決定した。

問 今回の金額で、ドーザ



除雪作業の様子

※プラウとは、除雪車に取り付けられた板状のもの全般を指し、道路や軌道に積った雪を左右いずれか、あるいは両方に押し上げる役割を持つ

答 一般的な定価で予想して計上したが、事前見積りを徴取した段階で、すでに予定価格自体が下がっており、予算に対する購入金額の差が大きく出てしまっ たということであり、購入する台数そのものは、1台である。

問 当初予算に3000万円が計上されているが、今回2000万円で落札されている。純粋にこういう値段になったのか、もう一台買う予定なのか。

答 マルチプラウは、オプションでこの中に入っ ての金額である。

・ 取得金額 20,196,000円
・ 契約業者 コマツカスタマーサポート株式会社

除雪機械の購入

青森県
西目屋村

「西目屋すくすくエコタウン」を視察

子育て支援事業の充実で人口増加を目指す

9月20日、総務文教常任委員会は、中津軽郡西目屋村の「子育て応援日本一の村づくり・西目屋で安心して育て」について、研修してまいりました。

西目屋村は、人口が千三百四十五人（五百三十世帯）と県内で一番人口の少ない自治体で高齢化率は39・77%の村です。同村は、津軽平野の主要な水源

になっていく「津軽ダム」を有し、「水源の里」とも言われております。また、世界有数のブナ林が広がる「白神山地」は平成五年、日本初の世界遺産に登録されています。

さて、研修では、桂田議長をはじめ四名の職員の皆さんに対応していただきました。

まず、「子育て定住エコタウン」については、津軽

ダム建設事業者の宿舍用跡地を活用し、移住定住の促進と、豊富な木質バイオマスを活用した環境共生タウンを整備し、村営住宅を提供。入居者百五人は全人口の7・8%になるそうです。選挙の優先順位は、①小学生以下の子どもがいる家族、②受託に困っている家庭、③村の活性化に寄与すると認められる家庭としたそうです。（土地代無償、融雪完備）

また、高校三年生に相当する年齢まで、医療費全額助成をはじめ、九つもの子育て支援事業で、子どもが3人いるご家庭で六百一万八千八百十円の助成金を支給。すべて所得制限なしという厚い支援施策を展開し、「子育て応援日本一の村」のスローガンのもと、平成31年度末まで



開会にあたり三上委員長があいさつ

9/20
～
9/21

西目屋村の子育て支援事業

今回利用した9つの子育て支援事業	助成金額	
	1人分	3人合計
①妊婦健診（国の指定検査）に付随する追加検査項目費用全額助成 ※助成検査項目・金額・回数ともに無制限、試算は平均助成額	12,000	36,000
②妊婦歯科健診費用全額助成	4,200	12,600
③産婦健診費用全額助成 ※助成検査項目・金額ともに無制限、試算は平均助成額	3,000	9,000
④チャイルドシート無料貸し出し	10,000	30,000
⑤任意予防接種費用全額助成 ※ロタウイルス・おたふく・季節性インフルエンザ	151,770	455,310
⑥0歳児以上保育料全額助成 ※第4階層で試算（1人目1,008,000円、2人目672,000円、3人目720,000円）	-	2,400,000
⑦こども医療費全額助成（高校3年生に相当する年齢まで） ※入院費・食事療養費も含む	510,000	1,530,000
⑧子育て成奨励金 第2子出産祝金・学校入学祝金【計250,000円】 第3子出産祝金・学校入学祝金【計350,000円】	-	600,000
⑨高校生奨学補助金（100,000円/年）※毎年（3年間）もらえます。	300,000	900,000
⑩中学生に対するピロリ菌撲滅事業（検査・治療費無料） ※1回陽性だったと仮定（検査①+治療+検査②）、治療は2回の場合も有	7,000	21,000
⑪新生児聴覚検査費用全額助成事業	8,300	24,900



研修に先立ち津軽ダムを視察

我が町委員は、これらの内容と規模に驚嘆することしきりでした。
外ヶ浜町でも、財政に限りがあるとはいえ、人口定住・子育て支援を高い優先順位に設定し、出来る限りの施策を講じていかなければならないなど痛感して、研修を修了しました。
総務文教常任委員会
委員長 三上 満

秋田県
八峰町

議会改革！タブレット端末導入効果は？

理事者と議員が情報共有で新しい町づくり

最近、国会では小泉進次郎氏ら超党派の衆議院議員が、国会改革の一つとしてタブレット端末の活用などを通じた、ペーパーレス化を検討しています。今や「ICT」の波は全国の自治体や地方議会にも及んでいます。こういった現状を踏まえて前号でもお伝えしたとおり、今年7月に仙台市で開催されました「自治体向

けICTセミナー」に参加してまいりましたが、講師の方は北上市議会議長で我われ地方の小さな町とでは様々な面でギャップが大きいと感じました。そこでもっと身近な研修先は無いかと資料に目を通したところ、秋田県八峰町議会がすでに導入していたのです。八峰町は人口約7千2百人、日本海に面した秋田県と青森県の境に位置し、旧八森町と旧峰浜村との合併により誕生した町です。わが外ヶ浜町とも規模が近い小さな町で議員数は13人です。議員の年齢層もまた近いものがあり、タブレット端末の導入経緯などでの問題点も似ているのではないかと考え、視察先に決定しました。



八峰町議会から説明を受ける

者に対応していただきました。今回のタブレット端末導入経緯でどうしても問題になると思われる「操作」がやはり議論の中心になりましたが、先方の議員の方々からは自分たちも初めは不安があったが、練習を積み重ね今はそこそこ使えているのだ、まずは慣れであるとのことでした。そしてタブレットとして町側からの日程告知・議案書・資料等が迅速かつ確実に届く

こと、また過去の資料等をタブレットからすぐに関連できること、理事者と議員の情報共有ができること、議案書などの資料を持ち歩くことはなく、また自宅に紙資料が溜まらないこと、などが挙げられました。デメリットはタブレット操作に慣れない方がどうしても出てくること、新人議員はとても苦労すること、などを挙げていました。いずれにしてもタブレット端末の導入は議員活動に大いに寄与する事であるから、ぜひ導入を検討されてはいかがでしょうか。今回の視察で取り上げたタブレット端末の活用は、今後の議会改革には必要であるとともに「ICT」時代に対応した、新しい町づくりの一翼を担うものと考えます。理事者側と協同で

10/16
～
10/17

行わなければならない意味を成さない事案だけに、議会として真に取り組むべきであると強く感じました。
議会運営委員会
委員長 浜谷 恭市



浜谷委員長が視察の目的をかかねてあいさつ

ICT 情報・通信に関する技術の総称。従来から使われていたITに代わる言葉として使われている。
タブレット端末 コンピュータ製品の分類の一つで、板状の筐体の片面が触れて操作できる液晶画面（タッチパネル）になっており、ほとんどの操作を画面に指を触れて行う。タイプは製品の種類によって異なる。ペーパーレス化 データや資料を紙に印刷して保管・共有・閲覧など行ってきたのをやめて、コンピュータシステム上のファイルの操作や画面表示で代替しようとする試み

知事を囲む行政懇談会

— 陸奥湾の漁業振興を要望 —

11月6日、青森県町村議会議長会が主催する「知事を囲む行政懇談会」がクラウンパレス青森で開催されました。

懇談会は、各郡議長会代表による要望を直接知事に伝える場となっています。今回は当町の鈴木議長が東津軽郡を代表し「陸奥湾の漁業振興について」と題し、ホタテ養殖残渣の処理問題と、漁港の浚渫について要望を提出し、県側の見解をいただきました。



要望を述べる鈴木議長

平成30年北海道胆振東部地震被災地に義援金送る

平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震災害に対して、町議会ではこの度、被災された方々を支援するために、義援金を日本赤十字社を通して送りました。一日も早い復興をお祈りします。

議長・副議長研修視察

— サーモン養殖業を学ぶ —



今別町の海上視察の様子

10月9日、東津軽郡町村議会議長会主催による、正副議長研修会が今別町において開催されました。

内容は、今別町に事業所がある日本サーモンファーム株式会社で実施しているサーモン養殖について学びました。

研修では、海上施設の視察や、事業概要の説明をしていただきました。

中核病院の在り方意見交換

10月29日、議会棟委員会室において、外ヶ浜中央病院との意見交換会を開催しました。

意見交換会では、議員のほか、外ヶ浜中央病院長はじめ事務局長、事務次長が出席。外ヶ浜中央病院の現状や今後の中核病院としての在り方について意見を交換しました。



病院の現状について説明をする秋山院長

編集後記

11月に入り、めっきり冷たくなりました。この広報が皆さんのお手元に届く頃には初雪も降っていることでしょうか。

さて、日常的に議員活動にいそしんでいる私たち議員も改選を半年に控え、ますますお尻がもぞもぞしてきたようです。10月には青森市議選があり、SNSで、差別的、侮辱的な投稿をした新人議員が謝罪会見を余儀なくされるという出来事がありました。

議員たるもの、議場のみならず、品位を欠く発言は厳に謹まなければならぬと再認識させられることになりました。

町民の皆さんの目は厳しいですからね。

三上 満

議会広報特別委員会

委員長：安藤英博

副委員長：三上 満

委員：浜谷 恭市/福井賢一郎

原 芳雄/石岡 博英

記田 慶市